

第39回(通算2655回) 例会記録 2015年4月22日(水)

- 司会進行/ 大城 文博
- ロータリーソング/手に手つないで・四つのテスト
- 地区研修協議会報告/次年度理事・役員
- メイクアップ/羽地宏幸・大濱達也・宮良 薫
宮良幸男・宮良榮子(計5名)

出席報告

会 員 総 数	36名
出席義務会員	35名
出 席 数	21名
欠 席 数	14名
出 席 率	60.66%
通算出席率(4月)	66.67%

本日のニコニコ

	収入	累計
ニコニコBox	¥1,000	¥136,000
コインBox	¥3,055	¥89,725
合 計	¥3,841	¥225,725

会長あいさつ:上原 秀政



今日は人口問題について調べてきました。明治維新(1868年)の時に日本の人口は3,400万、それが現在ピークで1億3,000万で約4倍増えたということです。昭和初期1925年の人口が5,900万、現在の人口の約半分でした。現在ピークで次第に減少に転じてきています。明治の後期から明治維新まででどれだけ人口が増えたかという、3,100万から3,400万で1.1倍になるのに150年かかっています。そして明治維新から現在まで150年くらいありますが、4倍弱、増え方が尋常じゃないです。急カーブを描いて増えていっています。江戸時代から明治維新までは多産多死の状況でした。明治維新から日本の人口が増えて、多

産少死という状況でした。発展途上国がそういう状況になるということです。今の状況は少産少死、少なく生まれて少なく死ぬという、欧米諸国もそうですが、先進諸国はそういう経過をたどって、人口が一定になるということです。

日本の特徴は出生率の低下、正式には合計特殊出生率というんですが、1人の女性が2人産まないと現在の人口を維持出来ないんです。これが1.2か1.3人のレベルになっています。少産少死から二次的な出生率低下に加わってくると、それで予想されるのが、あと100年後2115年に日本の人口6,000万、半分になるということです。昭和初期に戻るようになります。

もう1つ2025年問題というのがあります。団塊の世代が75歳を迎えます。75歳になると後期高齢になって、介護施設に入られる方が多くなると、生産人口が少子の中で減っていきます。少子高齢化生産人口、実質労働者は減っている。こういう問題はどうか。1つは介護の分野ではロボットの導入です。介護の仕事の大変なのは、寝たきりのお年寄りは2時間ごとに体位変換をしないといけないわけです。入浴サービスとか上げ下げをするような肉体労働があります。そういう所をロボットの力でやってもらう。もう1つは奇想天外な発想ですが、宇宙工学が発達して宇宙空間に老人施設を造ったら無重力状態になるので、褥瘡(じょくそう)ができない状況になる。そういう発想も生まれています。

私たち内科はお年寄りを扱っています。脳卒中とかで、寝たきりになる可能性もあります。言葉もしゃべれない、身体も動かせない、ただで栄養は取らないといけない。経管栄養といって、鼻から管を胃まで入れます。流動食を1日3回流し込む。そして病院では長期入院が出来ないので、介護施設に移したりします。その時に鼻から管がふとした拍子に抜けてしまうんです。そうすると介護職員は医療技術は持たないので、管を入れ直すことができない。どうするかというと胃ろうといって、胃の中に胃カメラを入れて腹壁から管を刺します。そこにカテーテルを入れて縫い付ける。そうすると抜けることもないし、介護職員が流動食を流し込むことができる。仕方ないんですが、気が付いたら胃ろうが入っていたと状況になり

ます。僕は人間口で咀嚼して自分の身体を賄う事が出来なければ寿命ではないのかなと思います。

これから若者の心理状態が結婚、出産、育児とか敬遠しがちになりがちではないかという感じがしています。

地区研修協議会報告

★新 賢次(次年度会長)

4月8日、東京の地区研修協議会に次年度の役員研修ということで、7名行って参りました。次年度7月スタートであと2ヶ月しかありませんが、2月に地区大会があつて、3月はPETSという次年度会長の研修にも参加して、2回行ったような感じもしますが、それも含めてご報告致します。

まずPETSなんですが、President Elect Training Seminarという頭文字を取っています。次年度会長のセミナー、トレーニングということです。3月18日に新宿のハイアットリージェンシー東京で午後2時から夕方まで行われまして、懇親会も参加してまいりました。そこでロータリーの事、ほとんど分からなかったなと再認識させられました。先輩方のご存じかと思いますが、2580地区は6分区から成り立っています。その中にクラブが70クラブあります。各クラブの会長が70名集まって研修をしました。会長要覧という100ページ以上の本がありまして、読んで行かなかったんですが、地区研修協議会の前には全部目を通して行きました。次年度の鈴木喬ガバナーよりご挨拶とガバナー方針を渡されまして、持ち帰って各次年度委員長に申し渡しをして地区研修協議会に参加して下さいと宿題も渡されました。次年度のRIテーマが「世界へのプレゼントになろう」というテーマです。

4月8日の地区研修は会場も同じハイアットリージェンシーホテルで行われました。部門別に分かれて研修を行いました。私は会長の部門に参加しました。会長部門の地区研修リーダー、パストガバナーの上野さんがいろいろ話をされまして、その後質疑応答がありました。ガバナーの公式訪問は何のためにやるのか?という基本的な質問がありました。目的は各クラブとガバナーの意見交換の場です、ということでした。いろいろありましたが、まず沖縄と東京が同じ地区になってい

るということは、将来もこうでいいのかという発言もありまして、ガバナーがいきさつ等話を話して下さって、新里ガバナー補佐からも東京都一緒が良いという話を受けて、納得を得たという感じでした。

一昨日2015-16年度の各委員長に集まってもらって委員会のメンバー構成を決めました。それに合わせて私の次年度のテーマと方針を出させて頂きました。それについては時間がありませんので、またの機会にお話をさせていただきます。次年度、クラブの例会の充実が大事だということで、早目に年間計画を立てたり、他クラブから卓話者を派遣してもらう制度があるので、それを活用して例会の充実を図っていこうと話しております。

★仁開 一夫(次年度地区国際奉仕委員)

私は地区の国際奉仕委員ですから国際奉仕部門に出ました。次年度はソウルで世界大会があります。世界から3万くらいの間人が動きますから、既にホテルが抑えられていて、今から取っていないと大変な状況です。7月10日くらいに沖縄分区の委員会がありますので、それに参加しようかと思っています。那覇RCに沖縄旅行社と国際旅行社の社長が会員でいます。交代で世界大会を担当していますので、来年は国際旅行社が担当になっているので、来年の事ではありますが、早目に沖縄分区でホテルを押さえた方がいいんじゃないかというアドバイスをしたいと思います。東京の方々はダイレクトでソウルに入ってくるかと思いますが、石垣、沖縄は那覇からソウルに入るといいますので、既に東京ではホテルを押さえているようなので、ロータリーレートでホテルの値段も上がっている状況です。

★前木 繁孝(次年度副会長)

初めての参加でしたが、社会奉仕委員会でした。基本はロータリー希望の風奨学金という奨学金を積みたてていて、それで東日本大震災の被災遺児の教育に役立てているということでした。

2011年3月11日に東日本大震災が発生して、ロータリークラブが募金を集めまして、義援金が10億3800万円集まったようです。使い道をどうするかということで、2010年・2011年ガバナー会と2011年・2012年ガバナー会の意見が集約できなくて、結論として使い道を考えていたプログラムを断念して、1つにまとめて10地区、秋田、東京、神奈川、大分、愛知、千葉の10地区が集ま

ってロータリー希望の風奨学金を作ろうということでもとまりまして、ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会として発足をして、それがロータリー希望の風奨学金として現在支援を続けているということです。ロータリアンの社会奉仕とは何なのかという事で、最終的に小澤パストガバナーがまとめとして、話していましたが、ロータリーというのは奨学金をずっと続けていくのが社会奉仕に繋がるんじゃないかという話をされていました。

東京で新しいクラブ、新宿御苑 RC が発足しました。会員皆さんほやほやなんです。その会長になるべく人が参加していましたが、何をしたいかわからない、ロータリーの活動自体もわからないと、社会奉仕とはやはりボランティアじゃないかと、身体を動かしてゴミ拾いをする、作業をすることも必要じゃないかと提言しました。そこで小澤秀英パストガバナーが一喝したのが、労働でボランティアをするのはどこにでもあるし、誰にでも出来る、ロータリアンとしてやれることは何なのか、それを真剣に考えましょうと締めくくっていました。最終的には義援金を絶えず送り続けることの出来る、社会人として、ロータリアンとしてりっぱに会社のために保持しましょうという纏めでした。

★南波 正幸
(次年度プログラム/親睦委員長)

クラブ奉仕部門に参加して来ました。ロータリーとしてイメージアップをしましょうということで、大型ビジョンで広告バナーを1ヶ月から2ヶ月に渡って各各所で流したという映像があって、その映像を各クラブのホームページでもアップして下さいと言う話がありました。これから次年度に向けては情報公開、各クラブでホームページを立ち上げて、皆が見られるようにやって頂きたいということが話されました。

★奥平 まゆみ
(次年度職業・社会奉仕/環境保全委員長)

私は職業奉仕部門で参加致しました。沖縄地区からは那覇 RC と那覇西 RC、私を含め3人でした。委員長は東京 RC の山本太一さんとカウンセラーは多田宏さん、お二人とも職業奉仕について熱く語られまして、職業奉仕とはなんぞやから始まり、経営方針とか日本はなんで存続会社が多いのかという討論をしました。今年の活動は年に

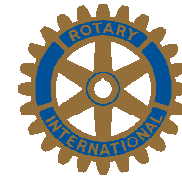
3・4回のセミナーを開催するという事でした。来年の地区大会においては職業奉仕のセッションも開催する予定だとおっしゃっていました。そして日本には34地区ありますが、その中で2580地区が一番職業奉仕に重点を置いているということが伝統になっているという事も初めて聞いて、すごく職業奉仕の深さを思い知りました。いつもは石垣クラブ団体行動なんですけど、今回はそれぞれのお部屋に分かれて、単独行動ですごく心細くもあり、また新鮮で大変有意義な研修会となりました。

～例会風景～



2015年(平成27年)5月13日(水) 第40回 例会(通算2656)

国際ロータリー第2580地区



THE ISHIGAKI ROTARY

(今月のロータリーレート 1ドル118円) WEEKLY REPORT No. 2553



国際ロータリー会長テーマ

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

ゲイリーC. K. ホアン

石垣ロータリークラブ会長テーマ

真・善・美

2014-15 年度会長 上原 秀政

創立記念日 1962年3月12日 (54周年)



●スジグロカバマダラ(マダラチョウ科)

翅の裏側と表側は樺(カバ)色の地に、黒縁があり前翅の先端に白い斑模様が見られますが、筋が黒いのが特徴です。白い花を好む。

例会日 水曜日 12:30～13:30
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
 TEL/FAX 0980-83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

会 長 : 上 原 秀 政
 副 会 長 : 新 賢 次
 幹 事 : 白 道 直 行
 副 幹 事 : 宮 良 薫
 S A A ・ 出 席 : 渡 久 地 明
 情 報 ・ 会 報 : 玉 城 守 雄